## 富士山生物群集保護林

管轄森林管理局•署

関東森林管理局 静岡森林管理署

所在地

静岡県裾野市、富士宮市、富士市

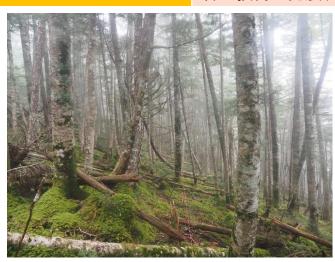
面積

1,027.09ha

設定年

平成3年(設定)、平成30年(統合・名称変更)

保護林の概要 (設定目的) 富士山の山腹には、日本の低山帯から高山帯にわたる植生の垂直 分布が模式的に存在し、太平洋気候区の典型的な森林として維持 されており、当該地域の代表的な群落を主体とする地域固有の生 物群集を有する森林を保護・管理することにより、森林生態系からな る自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・ 管理技術の発展、学術の研究等に資するため設定した。



保護林内の状況



火山荒原草本(フジイタドリ)群落

## モニタリング調査概要

実施年度

平成21年、平成26年、平成31年、令和6年

調查項目

資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、 下層植生の生育状況調査等)、動物調査(哺乳類及び鳥類)、聞き 取り調査

調査手法

森林詳細調査として、カラマツ、ウラジロモミ等の生育地において調査プロットを合計8箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に2つ調査ルート設定し、保護林内における出現種を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用した。

結果概要

概ね安定して維持されていると考えられるものの、プロットのいくつかではニホンジカによる剥皮等が確認され、下層植生が貧弱であったり減少したりしていることから、ニホンジカの採食圧による影響がみられた。ニホンジカの影響は前回調査でも確認されており、被害が継続している。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。